

OSAKA CHILD CARE

2017年4月よりサービス提供開始！

2016年10月に開設した大阪の『お子様専門』の訪問看護ステーションが4月よりサービス提供開始しました。



淀川キリスト教病院こどもホスピスで勤務していた2人の看護師が加わり、小児専門の作業療法士として経験のある所長を加えた3名がメインでご訪問致します。

4月は各所へご挨拶周りをさせて頂いたり、当ステーションのサービスについてお話を聞いてもらったりでご対応頂いた皆様におかれましては、お忙しい中お時間を頂きまして本当にありがとうございました。

さて、5月度より私達の活動について「OSAKA CHILD CARE」と題したニュースレターを発行する運びとなりました。ご一読頂ければ幸いです。

開業祝いとして都島区で児童発達支援事業・放課後等デイサービスを運営されている株式会社ピースプラントの植西社長よりお祝いのお花を頂きました。

開始早々事務所が華やかになり、温かい雰囲気ですスタートすることができました。

Q&A

ご挨拶周りの中で頂いたご質問やお母様からのご質問について回答させて頂きたいと思っております。

①広汎性発達障がいの子どもを受けられる「精神科訪問看護」って何？

回答：「精神科訪問看護」の対象には発達障がいを持つ小児が含まれています。「精神科を標榜する病院の精神科医」に指示書を依頼することになるので、精神科の受診が必須となります。詳しく知りたい方はお問合せ下さい。

②広汎性発達障がいを持つ子ども達への訪問看護って何をしてくれるの？

回答：子育て支援、自立支援がメインになります。発達障がいを持つお子様の多くが「他者や環境との関わり方」に困難さがある方が多いので、看護・作業療法共、関わり方が上手くなる為の支援を行います。その他にも、学習支援や感覚統合などお母様からのご要望にお答えしていきます。



Yちゃんは、4月にNICUを退院したばかりの0歳児です。

写真は、所長と担当看護師が同行した日のもの。

退院したばかりで何かから何まで初めてのお母様のお手伝いを看護師が、作業療法士は月に1回程度同行し、Yちゃんの運動・認知面の発達具合を確認しています。

訪問時の一コマ！

③大人は訪問してくれないの？

入浴支援の準備をしていると、M君の飼っているラッキーが何か手伝えることは無いか？と寄ってきます。犬好きの私にはたまらない表情でした。

-管理者：平田美美



回答：18歳までに何かしらの病気や障がいを負い成人された方も対象としております。現状でも21歳の方がご利用されています。また、当ステーションの目標の1つとして「家族全体の幸せ」というものを掲げています。お子様がいらっしゃるお母様が精神的に大変なおられる方や、お子様と同居されている要介護の方も訪問させて頂きます。

弊社が提供しているサービスについて、簡単ではありますが、資料を用意しております。

もし具体的に知りたい等、ご要望がありましたら、何なりとご相談下さい。

今後とも、何卒宜しくお願い致します。